

JAMトピックス

J
臨時
委
A
時
員
中
M
中央
委
会

藤川しんいち副会長を参院へ

JAMは2015年3月26日、東京で臨時中央委員会を開き、2016年夏に実施される第24回参議院議員選挙の比例代表に組織内候補予定者として副会長の藤川しんいち氏擁立を満場一致で決定した。

議事では、藤川しんいち氏を来夏の参議院議員比例代表へ擁立にするに至った経緯などが報告され、擁立集会で登壇した藤川しんいち候補予定者は、大手が儲かっても我われ中小は利益が出ていない。地方や地場・中小企業の元気が日本の元気だ。ものづくりの中小企業が元気になる政策を推進すると決意を表明した。



<女性を含む3名の議長による進行>

眞中会長は「来年7月には第24回参議院通常選挙が行われます。津田議員については既に、任期満了をもって勇退したいという旨の発言をしている。JAMとしては、引き続きJAMの代表を国会に送ることを決めたが、難航を極め、擁立が遅れたことに対して、お詫びする。選挙本番まで1年4ヶ月と限られた時間であるが、組織力のバロメーターであるので、総力を挙げて戦い抜き、勝利したい」と協力をお願いした。

藤川副会長からは「会長から打診を受けて悩みに悩んだが、みなさんからの熱い思いを受けて私自身決意を固めた。本日以降、全身全霊、選挙に向けてまい進する。今回の取り組みは、JAM35万人の組合員に投票に行き、「藤川しんいち」と書いてもらうことしかない。まずは

組合員にこの藤川という男を知ってもらい、その活動から始めていかねばならない。

政策については、JAMの特徴は、ものづくり中小の集まりである。連合のなかでも、民間の企業連や官公労とは違う特徴があり、それが強みでもある。今春闘でも、中小の賃上げの動向が注目されている。しかし、大手が儲かっても、われわれ中小にはなかなか利益がもたらされていない。日本全国での中小の元気が、地場・地方での元気つながるので、ものづくり中小が元気になる政策がわれわれの政策である。JAMがJAMである意味を、もう一度考えて、本当にわれわれの代表だと、分かりやすく感じてもらうことに努力する。本当にJAMの組合員とその家族を守るために、勝ち抜かねばならない選挙である。そして、大変厳しい情勢だが、危機感の共有と、そしてJAMが1つになるということをお願いして、私の決意表明とします」とJAMの代表としての決意を述べた。

JAM 2015年度 臨時中央委員会



<中小ものづくりの代表を国政へ>

藤川しんいち略歴

1963年10月生まれ51歳

1986年 日本電池(株)入社

1994年以降 日本電池労働組合(現・ジーエスユアサ)執行委員長など歴任

2011年 JAM副会長(専従)。労働政策委員長として中小の労働条件の維持向上に尽力。ものづくり産業の育成・発展、熟練技能の継承などの産業政策にも取り組んでいる。